

SSFF in 北海道 スペシャルプログラム 概要

札幌からもショートムービーの監督が多く登場し、ブロードバンドへのショートムービーの配信など活躍もめざましく、彼らを中心とした北海道のショートも特集します。また、北海道ならではの企画として、「コリアン・ショート・クリップス」、「フレンチ・ショートショート」、「フィルムコミッション・フォーラム」や、「デジタルシネマ・フォーラム」、「北海道セレクション」など、札幌のショートムービーシーンを浮き彫りにする特別プログラムも予定、多数のゲストを招き参加する映画祭を目指します。

また、今回はサテライト開場として函館開催(7月18日(金)～7月20日(日)フライデーナイトクラブにて)も行います。

■北海道セレクション 会期中1回のみの特映

6月12日(木)11:00～12:30【上映60分+トーク30分】

札幌からもショートムービーの監督が多く登場し、ブロードバンドへのショートムービーの配信など活躍もめざましく、彼らを中心とした北海道のショートも特集します。札幌ショートショート実行委員によるオリジナルセレクションプログラム。

ブロードバンドコンテンツ「バクーンTV」のコンテンツなど、北海道の若手監督達の作品を一挙公開。

・「桃色心地」(12min) 監督:島田英二

とある男の家に忍び込んだ空き巣。突然家主が彼女と帰宅したため慌てて隠れた空き巣は、とんでもない光景を目撃してしまう…。

・「アイロニーモード008」(16min) 監督:アラキマサヒト

結婚しようとする男が、相手の女性の父親と対面する。

しかし、彼女の家には厳しい「家訓」が存在し、男は彼女の父親から「家訓」の適応性を試される。果たして男は結婚を許されるのか…？

・プラネタリウム ～星空の記憶～ (15min) 監督:小野寺圭介

海外留学を前に引越しの準備を進める紙谷。その作業にもうんざりして喫茶店で休憩していると、初恋の相手に似た女性を目にする。紙谷はふとそのころの記憶を思い出す。

他 計7作品

上映順	タイトル	監督名
01:	桃色心地(12min)	島田 英二
02:	無限の長さ(19min)	池田 学
03:	食事は冷蔵庫の中(2min)	奥田 悠太
04:	アイロニーモード008(16min)	アラキ マサヒト
05:	プラネタリウム-星空の記憶- (15min)	小野寺 圭介
06:	YES HAND NAME(9min)	登坂 考範

07:	札幌ひみつ指令(13min)	黒田 拓
-----	----------------	------

■フレンチショートショート

6月13日(金)21:00～22:30【上映60分+トーク30分】

6月15日(日)11:00～12:30【上映60分+トーク30分】

短編映画祭の最高峰「クレルモンフェラン国際短編映画祭」の25周年を記念した特別セレクションを上映。ユニフランス短編部門代表や、世界最大級の短編映画祭クレルモンフェラン国際短編映画祭オーガナイザーによるフランスのショートフィルム事情トークを展開します。

ゲスト：ヴァレリー・デュヴォシエル(短編映画プロデューサー)

フランス大使館の後援の元、日本におけるフランス短編映画に関するコーディネートを率先しているFCMF(Le Festival des Courts-Métrages Français)短編映画事務局代表。

フランスの短編映画に興味を持つ映画祭、配給会社、教育機関等へ作品の紹介だけでなく、在仏の映像作家に日本の映画祭等、作品の上映機会の情報を提供。

また、短編映画プロデューサーでもあり、将来のヨーロッパとアジアのインディペンデント映画の掛け橋となる事を目標としている。

■コリアンショートクリップス 会期中1回のみの特典上映

6月14日(土)11:00～12:30【上映60分+トーク30分】

札幌オリジナルのプログラム。好評につき去年に引き続き今年も上映。映像大国・韓国的一端を担っているミュージックビデオ(日本ではプロモーションビデオ)の代表作、短編映画などを厳選して紹介。シジョンというアーティストの「デスペラード」やチンジュの「行くの？」など7作品を予定。もちろん、日本初公開となる作品も含まれています。また、来場者にはプレゼントもあります。

◎KOREAN SHORT CLIPS

前半<韓国新世代映像作家の表現方法>

1. 行くの? チンジュ

1ショットで別れを経験する女性の心情を表現する

2. 地下鉄に乗る WAX

映像集団「TOMATO」のプロデュースによる作品

3. MY STYLE CHO PD

2002年度韓国ミュージックビデオ各賞でグランプリを総なめした作品

後半<韓国ミュージックビデオ界が誇るストーリーテリング>

4. DESPERADO POSITION

韓国を代表する映画監督、ペ・チャンホがプロデュースを手がけた北朝鮮スパイと韓国の田舎の少女との心の交流を描いた作品。

(2003年5月度作品)

5. だんだん BROWN EYES

2001年に発表したBROWN EYESの作品「もう1年」のミュージックビデオの続編。

(2002年12月度作品)

6. NEVER AGAIN イ・スヨン

北海道・小樽を舞台にした作品。

7. そうだったの キム・ヒョンジュン

今年大ヒットした映画「猟奇的な彼女」の監督、クァク・ジェヨン監督の最新作「クラシック」の映像を監督自らが再編集し、この曲に合わせて再構成した作品。

(2003年5月度作品)

ゲスト：古家正亨(DJ&コーディネーター)

昨今の韓国ブーム以前から、日韓の音楽文化交流を精力的に行っているDJ&コーディネーター。

FMノースウェーブの月・水・金曜12〜17時「ACTIVE LINE」をはじめ、土曜22〜23時の日本初韓国ポップスを専門に紹介する番組「Beats-Of-Korea」、韓国KBSでも番組を担当。北海道だけに留まらず、日韓の音楽交流イベントのMC兼通訳としても全国区で活動。日韓の音楽業界との幅広いネットワークを持ち、ライナーノーツの翻訳、音楽雑誌や新聞への寄稿も手がけている。

■アニマトリックス 会期中1回のみの特映

6月14日(土)17:00〜18:30【上映60分+トーク30分】

「マトリックス」の生みの親であるウォシャウスキー兄弟と日本人を中心とした世界のトップ・クリエイター達とのコラボレーションによるスペシャル・プロジェクト「アニマトリックス」。「マトリックス」三部作を補完するだけではなく、アナザーストーリーでありパラレルストーリーでもある9本のオムニバスの中から5本を劇場で公開。

オフィシャルホームページ <http://www.whv.jp/month/animatrix/>

ゲスト：未定

(日)ファイナル・フライト・オブ・ザ・オシリス

(月)セカンド・ルネッサンス パート1

(火)セカンド・ルネッサンス パート2

(水)キッズ・ストーリー

(木)プログラム

発売元:ワーナー・ホーム・ビデオ

価格:2,980円(税抜)

Program Content, Artwork and Photography

(c) 2003 Village Roadshow Films (BVI) Ltd.

Package Design & Summary

(c) 2003 Warner Home Video. All Rights Reserved.

札幌スペシャルゲスト:

前田真宏氏(セカンド・ルネッサンス パート1・2)

メカデザイン、アニメーター、演出など、様々なポジションで才能を発揮するクリエイター。そのセンスの閃きと、活動のバラエティの豊かさは素晴らしいものである。監督作品に「FF:Uーファイナルファンタジー:アンリミテッドー」(総監督)、「青の6号」、布袋寅泰のミュージッククリップ「ギタリズム」がある。先鋭的な作品を数多く発表しているゴンゾに設立時から参加。同社のメインクリエイターの一人である。また、かつてはガイナックスに所属し、同社の代表作「王立宇宙軍 オネアミスの翼」、「ふしぎの海のナディア」でイメージボード、デザイン、コンテ、レイアウト、原画等、多彩な仕事ぶりを見せた。また、特撮作品「ウルトラマンパワード」、「ガメラ」、シリーズでは、怪獣デザインを手がけている。

■フォーラム

・フィルムコミッション・フォーラム (無料)

6月13日(金)15:00~16:30

映画のロケーションサービスなどを行う「フィルム・コミッション」は、シティープロモーションとしても有効な機能として注目されており、ショートフィルム監督達にとっても大変重要なものです。今後ますます需要が増えるショートフィルムの制作とフィルムコミッションとの密接な関係を討論し、その可能性についても語り合います。

パネラー : 北海道ロケーションサービス、さっぽろフィルムコミッション他

・デジタルシネマ・フォーラム (無料) Presented by. Inter x cross Creative Center

6月14日(土)15:00~16:30

最新のデジタルシネマの現状を、慶応大学でデジタルシネマの研究をされている稲陰正彦氏と、ジャムフィルムなどを手掛けた映画プロデューサーの河井信哉氏をゲストに、ショートフィルムの可能性などの話題を交えてお話をうかがいます。

ゲスト:

・稲陰正彦(慶應義塾大学環境情報学部教授)

最先端技術を駆使したデジタルコンテンツのプロジェクトにプロデューサー、ディレクター、アーティストとして参加。製作、開発、ビジネスの多角的な立場で国際的に活動。研究活動の専門領域はブロードバンド・エンターテインメント(特にデジタルシネマ、デジタル放送、ユビキタス・エンタテインメント、オンラインゲームなど)の分野。デジタルシネマ分野では、双方向シネマ、映画の家庭配信、モバイルシネマなど新しい映画視聴と流通モデルを提案している。

・河井信哉(映画プロデューサー)

1958年、大阪府生まれ。81年フジテレビに入社し、87年「私をスキーに連れてって」でプロデューサーとなる。同年、洋邦の映画を上映するシネスイッチ銀座を設立し、88年「木村家の人びと」、95年「Love Letter」などのヒット作を生み出す。さらに「スワロウテイル」「アナザヘブン」「リング」「らせん」なども手掛けている。最新作は2002年に公開された、7人の実力派監督によるショートフィルムを集めた「jam Films」。

<北海道スペシャルプログラム>についてのお問合せは下記にお願い致します:

札幌ショートショート実行委員会

〒060-0062 札幌市中央区南2条西6丁目南2西6ビル8F

株式会社マーケティング・コミュニケーション・エルグ内

札幌ショートショート実行委員会事務局

tel: 011-221-5661